

Secure I/O 2

設置ガイド

バージョン 1.00
日本語

JA 101.00.SIO2 V1.00A

目次

安全にお使いいただくために	3
部品	5
前面	6
設置例	6
寸法	7
接続	8
電源	8
RS-485	8
フェールセーフロック	9
フェールセキュアロック	9
ドアボタン	10
ドアセンサー	10
製品仕様	11
FCC 準拠情報	12
付録	13
免責事項	13
著作権表示	13

安全にお使いいただくために

製品を使用する前に、次の手順を注意深くお読みください。この情報は、ユーザーの安全性を確保し、ユーザーの所有物の破損を防止する上で重要です。

警告

誤った使い方をすると、重傷または死亡につながる恐れがあります。

設置手順

直射日光の当たる場所や湿気の多い場所に製品を設置しないでください。

- 火災や感電の原因になります。

本製品を、熱器具の近くなど高温になる場所に置かないでください。

- 過熱による火災や感電の原因になることがあります。

本製品を、乾燥した場所に設置してください。

- 湿気は、製品の損傷や感電の原因となることがあります。

本製品を、電磁妨害のない場所に設置してください。

- 製品の損傷または感電を引き起こす恐れがあります。

製品の設置または修理は、認定サービス担当者に任せてください。

- そうしないと、火災、感電、または負傷の原因となる可能性があります。
- ユーザーが製品を権限なく設置または撤去したために製品が破損した場合は、修理料金が請求されます。

注意

誤った使い方をすると、軽傷または製品の損傷を招く可能性があります。

設置手順

電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護します。

- 製品の損傷または負傷を引き起こす恐れがあります。

本製品を、磁石、テレビ、モニター（特に CRT モニター）、スピーカーなど強い磁気を発する物の近くに置かないでください。

- 故障につながる可能性があります。

Secure I/O 2、電子ロックデバイス、および入退管理装置は、それぞれ独立した電源を使用する必要があります。

操作手順

使用中に製品を落したり、打撃や衝撃を与えたりしないでください。

- 故障につながる可能性があります。

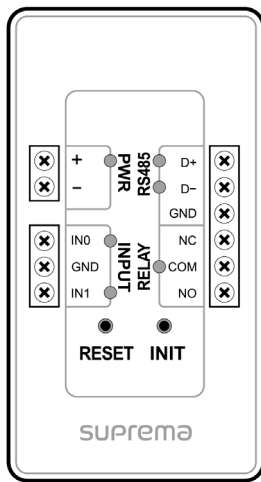
製品のボタンを強く押したり、鋭利な工具で押したりしないでください。

- 故障につながる可能性があります。

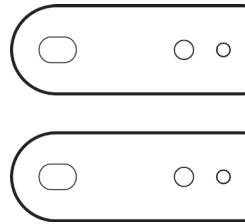
柔らかい乾いた布で製品を拭いてください。アルコール、ベンゼン、または水は使用しないでください。

- 製品の故障につながる可能性があります。

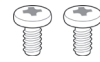
部品



Secure I/O 2



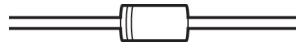
ブラケット
(2 個)



ブラケット用取り付けねじ
(2 個)

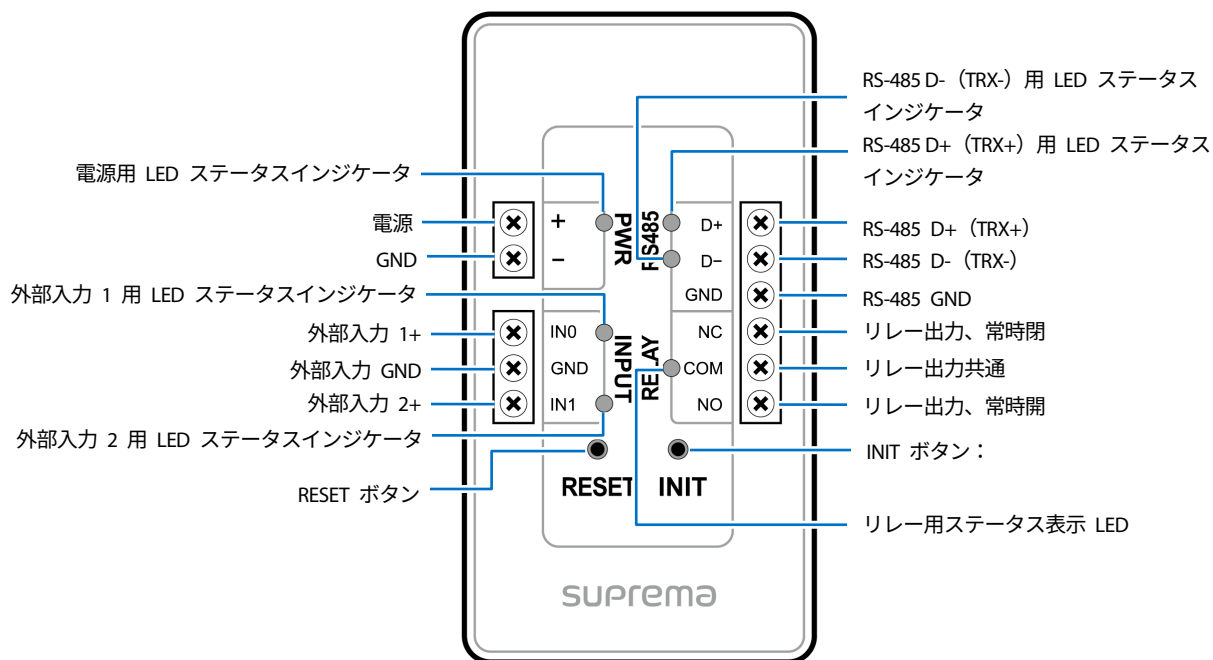


120Ω 抵抗器
(1 個)



ダイオード
(1 個)

前面

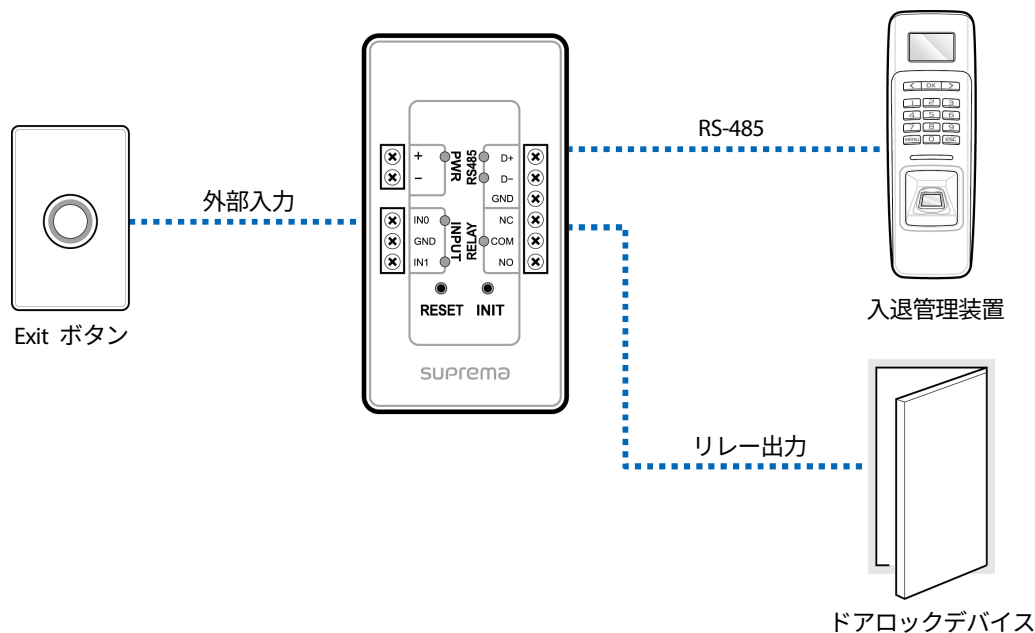


注意

デバイスと相互運用されている Secure I/O 2 をリセットして別のデバイスに接続するには、INIT ボタンを押します。

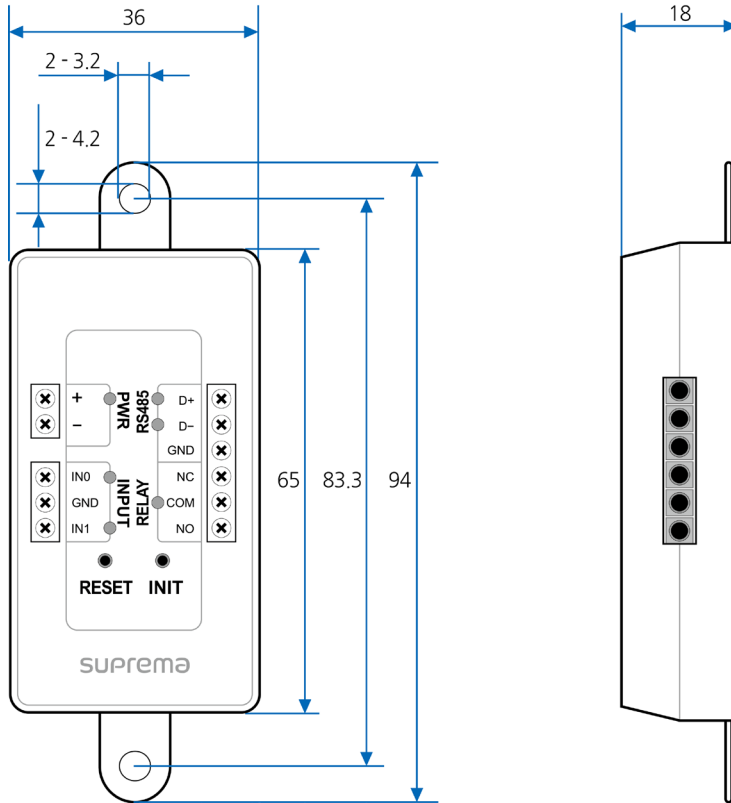
設置例

Secure I/O 2 は RS-485 で接続し、小型であるためどこにでも取り付けることができます。すでに設置されているジャンクションボックス、または壁掛形コントロールボックスとともに取り付けることもできます。Exit ボタンの背面に取り付けることもできます。



寸法

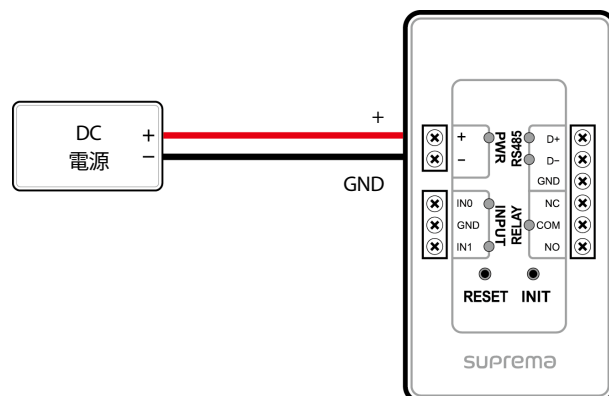
(単位：mm)



接続

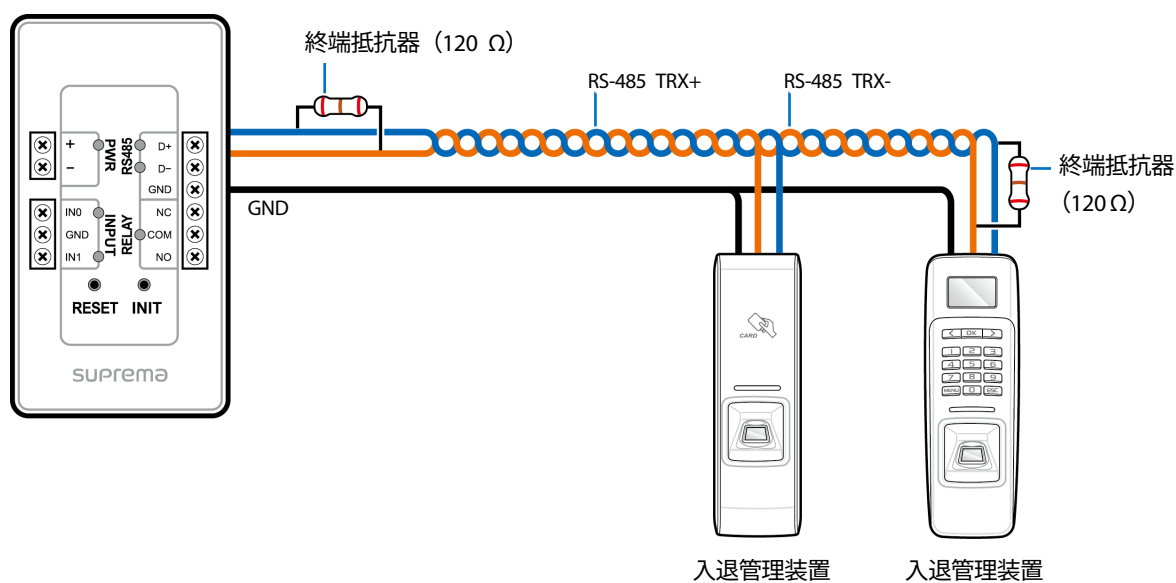
電源

- 入退管理装置と電源を共有しないでください。
- 電源を他のデバイスと共有する場合、9~18V および 500 mA 以上を供給する必要があります。
- 電源アダプタを使用する場合は、IEC/EN 60950-1 認定を受けたアダプタである必要があります。



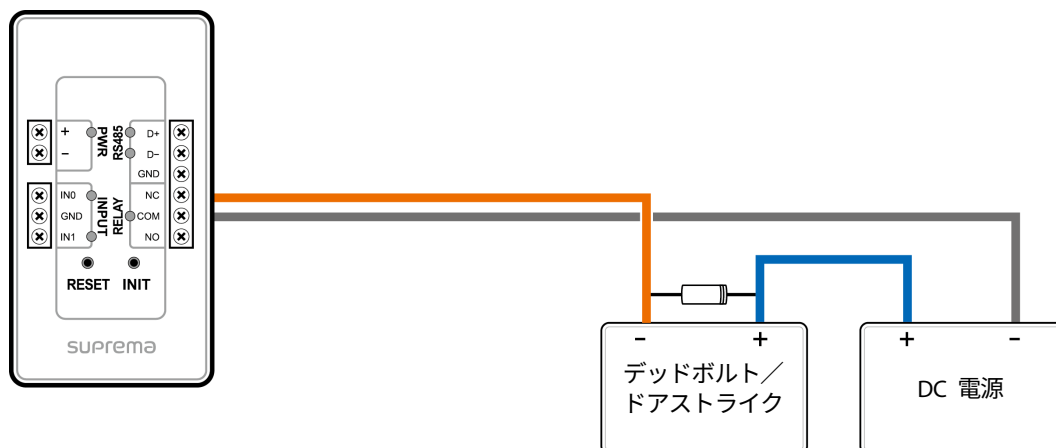
RS-485

- RS-485 には AWG24 ツイストペアを使用してください。最大長は 1.2 km です。
- 終端抵抗 (120 Ω) を RS-485 デイジーチェーン接続の両端に接続します。デイジーチェーンの両端に取り付ける必要があります。チェーンの中央に取り付けた場合、信号レベルが下がるため、通信中の性能が低下します。



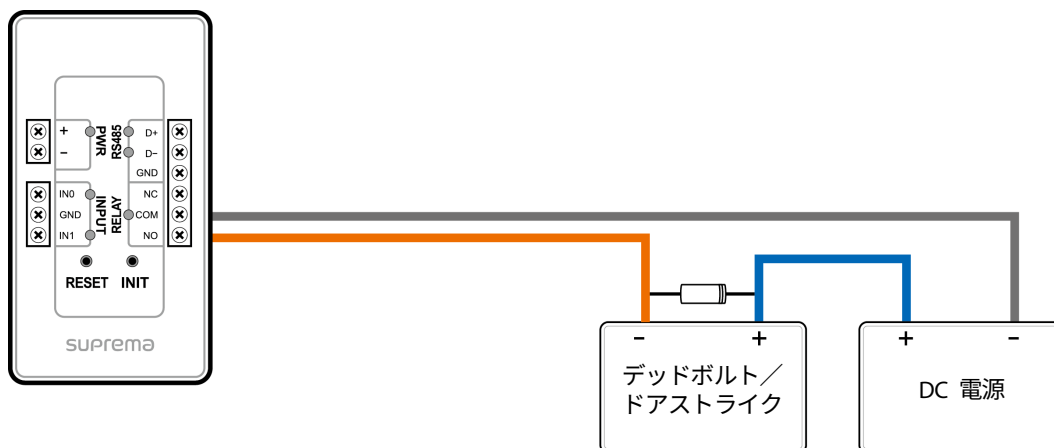
フェールセーフロック

- フェールセーフロックを使用するには、以下に示すように NC ターミナルを接続します。通常はリレーに電流が流れており、電流の流れが遮断されてリレーが作動すると、ドアが開きます。外部の要因により、停電や電力障害が起きた場合にもドアが開きます。
- デッドボルトまたはドアストライクを取り付ける場合は、図に示すように、製品に付属するダイオードを電源入力の上端に接続する必要があります。正しい方向にダイオードを慎重に取り付けます。陰極（ストライプマーク）は電源の (+) に接続する必要があります。

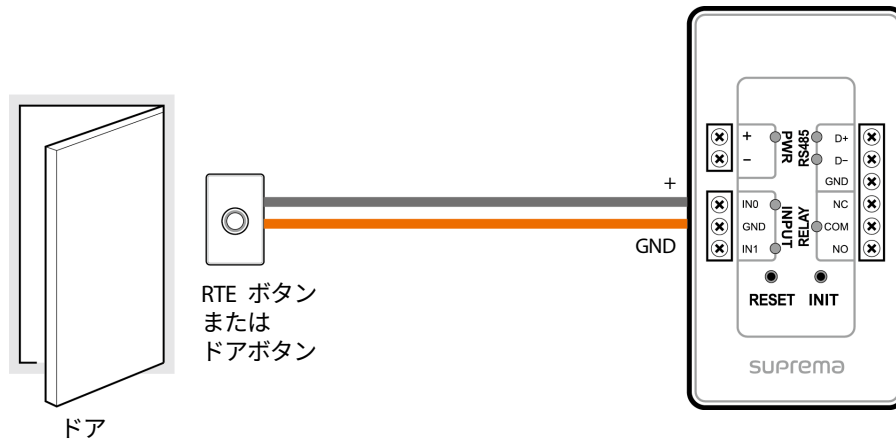


フェールセキュアロック

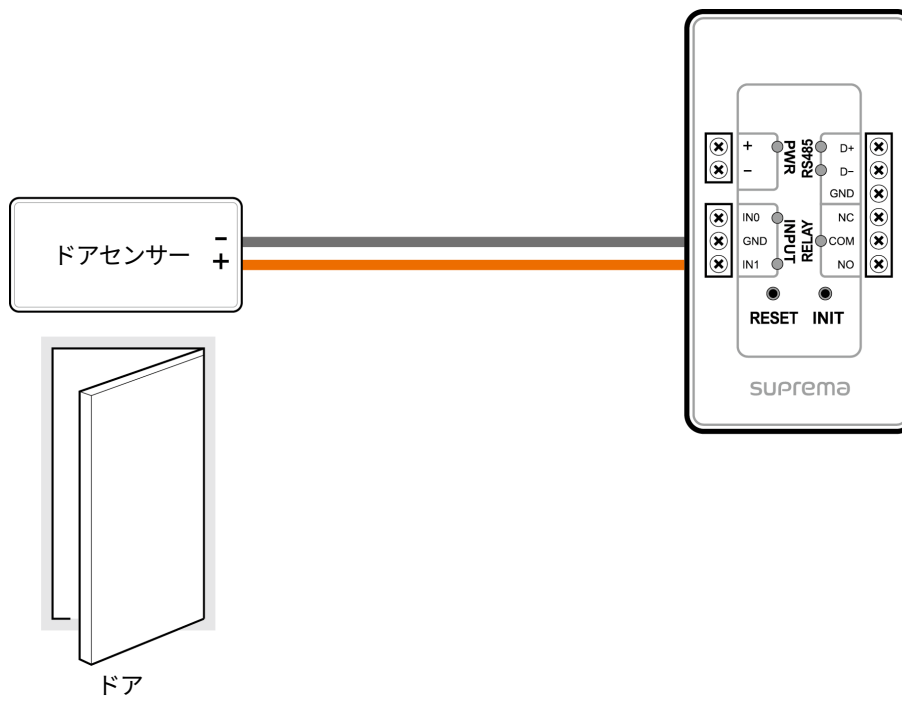
- フェールセキュアロックを使用するには、NO ターミナルを以下のように接続します。通常はリレーに電流は流れておらず、電流によってリレーが作動すると、ドアが開きます。外部の要因により停電や電力障害が起きた場合、ドアはロックされます。
- デッドボルトまたはドアストライクを取り付ける場合は、図に示すように、製品に付属するダイオードを電源入力の上端に接続する必要があります。正しい方向にダイオードを慎重に取り付けます。陰極（ストライプマーク）は電源の (+) に接続する必要があります。



ドアボタン



ドアセンサー



製品仕様

項目	仕様
CPU	Cortex M 32 MHz
メモリ	128 KB Flash + 20 KB RAM
LED	6 個の LED (電源、RS-485 TX/RX、IN1、IN2、リレー)
入力/出力端子	入力 2 チャンネル、リレー 1 チャンネル、RS-485 1 チャンネル
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	36mm x 65mm x 18mm
電源	<ul style="list-style-type: none">推奨：9VDC (130 mA)、12VDC (100 mA)、18VDC (70 mA)最大：VDC 18 (200 mA)電流：最大 200 mA
リレー	<ul style="list-style-type: none">電圧：最大 24VDC電流：0.5A、最大 1A

FCC 準拠情報

このデバイスは、FCC 規則第 15 部に準拠しています。

動作は、次の 2 つの条件に従います。

- (1) このデバイスは、有害な電波干渉を引き起こしてはなりません。また、
- (2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある電波干渉を含め、受信したあらゆる電波干渉を許容する必要があります。

注意：この装置は、FCC 規則の第 15 部に従って、クラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることがテストおよび確認されています。これらの制限は、居住地域での設置において有害な電波干渉から適切に保護するためのものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な電波干渉が発生することがあります。ただし、特定の設置で電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。この装置のオフとオンを切り替えてみて、この装置によってラジオやテレビなどの受信に有害な電波干渉が発生することが判明した場合は、次の方法で電波干渉を解消してみてください。

- 受信アンテナの方向や場所を変更する。
- 装置と受信機の位置を離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売店や、ラジオまたはテレビの経験豊富な技術者に相談する。

製造元によって明示的に承認されていない変更を行った場合、FCC 規則に基づき、ユーザーの装置を操作する権限が無効になる場合があります。

付録

免責事項

- 本文書は、Suprema の製品に関連する情報を提供するものです。
- 使用权は、Suprema が保証する販売契約および条件で扱われる製品にのみ認められます。本文書で取り上げられていない知的所有権のライセンスは付与されません。
- Suprema は、Suprema 製品の販売または使用に関して、特定の目的に対する適合性および商品適格性、ならびに特許権、著作権、または他の知的財産権の侵害について、一切の保証または責任を負わないものとします。
- 製品の誤作動により人が負傷または死亡する状況や、治療、人命救助、または生命維持に関する状況では、Suprema 製品を使用しないでください。上記のいずれかの状況でユーザーが事故に遭遇した場合、Suprema の従業員、子会社、支店、パートナー、および販売代理店は、設計または製造過程に重大な過失があると申し立てられた場合でも責任を免除され、また訴訟費用を含め直接または間接のあらゆる費用または経費についても責任を負わないものとします。
- Suprema は、製品の安定性、機能、設計を向上させるために、製品の規格と仕様を通知することなく随時変更する場合があります。設計者は、「実装予定」または「未定義」と示されている機能や説明が随時変更される可能性があることに留意しておく必要があります。Suprema はできるだけ短期間でこのような項目を実装または定義しますが、互換性の問題など、発生した問題について一切の責任を負いません。
- 製品を注文する前に最新の仕様を取得するには、Suprema、Suprema の販売担当者、または地域の販売代理店にお問い合わせください。

著作権表示

Suprema が本文書の著作権を有します。その他の製品名、ブランド、商標の権利は、それらを所有する個人または組織に属します。



suprema
BIOMETRICS & SECURITY

シュプリマ株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋4-21-3新橋東急ビル3階 オフィス#337

電話: 03-6895-7527 | Eメール: sales_jp@supremainc.com

©2019 Suprema, Inc. 本書に記載されている Suprema および Suprema 社の製品名および番号は、Suprema, Inc. の登録商標です。Suprema 社以外のすべてのブランドおよび製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。製品の外観、ビルドステータスおよび/または仕様は、予告なく変更されることがあります。